



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年2月7日

上場会社名 株式会社ナフコ 上場取引所 東  
 コード番号 2790 URL http://www.nafco.tv  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 卓巳  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 小林 数臣 (TEL) 093-521-7030  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第3四半期の業績 (2019年4月1日~2019年12月31日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	170,983	△2.2	7,672	1.2	8,179	2.7	4,816	10.8
2019年3月期第3四半期	174,891	△1.4	7,582	△10.8	7,961	△9.8	4,348	△11.9
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2020年3月期第3四半期	168.61		—					
2019年3月期第3四半期	151.51		—					

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	226,318	142,239	62.8	4,979.90
2019年3月期	222,501	138,540	62.3	4,850.37

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 142,239百万円 2019年3月期 138,540百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	19.00	—	19.00	38.00
2020年3月期	—	19.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年3月期の業績予想 (2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	224,997	0.8	8,426	20.4	8,971	19.2	4,781	5.8	167.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期3Q	29,784,400株	2019年3月期	29,784,400株
2020年3月期3Q	1,221,670株	2019年3月期	1,221,594株
2020年3月期3Q	28,562,798株	2019年3月期3Q	28,698,506株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
3. 補足情報	7
(1) 商品部門別販売の状況	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境に改善が見られ、緩やかな景気回復基調にあるものの、米中貿易摩擦の激化や英国のEU離脱問題、中東情勢の緊迫化など、海外経済情勢の不安の高まり、また、消費税の引き上げによる消費マインドの低迷など、先行き不透明な状況が続いております。

家具・ホームセンター業界におきましても、業種・業態を超えた競争の激化や高齢化・人口減少によるマーケットの縮小、物流や建築資材をはじめとした各種コストの上昇および採用難による人手不足などにより、また、豪雨や記録的な猛暑といった天候不順の影響もあり、依然として厳しい経営環境となっております。

このような状況の中で当社は、「お客様満足度100%」の経営理念のもと、お客様志向の徹底とお客様のニーズに合った商品政策の強化をさらに継続してまいりました。

また、経営基盤の充実のため店舗展開と既存店の強化に取り組み、1店舗の新規出店及び7店舗の増床と1店舗の改装をいたしました。同時に既存店の見直しも行き8店舗を閉鎖いたしました。これにより当第3四半期会計期間末の店舗数は、34府県にわたり359店舗となりました。

売上高1,709億83百万円（前年同期比2.2%減）、売上総利益560億26百万円（前年同期比0.6%減）、売上総利益率32.8%（前年同期比0.6ポイント増）となりました。

また、販売費及び一般管理費483億54百万円（前年同期比0.9%減）、対売上高比率は28.3%（前年同期比0.4ポイント増）となりました。

この結果、営業利益76億72百万円（前年同期比1.2%増）、経常利益81億79百万円（前年同期比2.7%増）、四半期純利益48億16百万円（前年同期比10.8%増）となり減収増益となりました。

セグメント業績を示すと、次のとおりであります。

「資材・DIY・園芸用品」は、最も売上構成比の高い当社の主力商品であります。比較的、天候不順に影響を受けやすい商品であります。当第3四半期累計期間は、売上高は741億90百万円（前年同期比0.8%増）、売上総利益256億15百万円（前年同期比1.1%増）、売上総利益率は34.5%となっております。

「生活用品」も、天候不順や競合他社との企業間競争が大きく影響している商品であります。当第3四半期累計期間は、売上高は466億84百万円（前年同期比6.7%減）、売上総利益125億14百万円（前年同期比3.2%減）、売上総利益率は26.8%となっております。

「家具・ホームファッション用品」は、当社の差別化された商品であります。他の商品と同様に天候不順や競合他社との企業間競争の影響を受けております。当第3四半期累計期間は、売上高は349億73百万円（前年同期比1.8%減）、売上総利益135億54百万円（前年同期比1.7%減）、売上総利益率は38.8%となっております。

「その他」は、カー用品、乗り物、ペット用品、灯油他が含まれておりますが、異業種を含め、企業間競争の影響を大きく受けております。当第3四半期累計期間は、売上高は151億34百万円（前年同期比3.0%減）、売上総利益43億42百万円（前年同期比0.5%増）、売上総利益率は28.7%となっております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末の資産合計は、2,263億18百万円となり、前事業年度末と比較して38億16百万円の増加となりました。

(流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は、905億0百万円（前事業年度末比49億19百万円増）となりました。増加の主な要因は、現金及び預金の増加（前事業年度末比44億70百万円増）、商品の増加（前事業年度末比3億79百万円増）などによるものであります。

(固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産の残高は、1,358億17百万円（前事業年度末比11億2百万円減）となりました。減少の主な要因は、有形固定資産の減少（前事業年度末比10億55百万円減）などによるものであります。

(流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は、700億54百万円（前事業年度末比7億21百万円増）となりました。増加の主な要因は、短期借入金の減少（前事業年度末比13億40百万円減）、設備関係支払手形の減少（前事業年度末比13億6百万円減）などがあったものの、支払手形及び買掛金の増加（前事業年度末比28億97百万円増）などによるものであります。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末における固定負債の残高は、140億23百万円（前事業年度末比6億4百万円減）となりました。減少の主な要因は、長期借入金の減少（前事業年度末比7億13百万円減）などによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は、1,422億39百万円（前事業年度末比36億99百万円増）となりました。増加の主な要因は、利益剰余金の増加（前事業年度末比37億30百万円増）などによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

現段階では2019年11月8日発表時の業績予想の修正は行っておりません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	23,088	27,559
売掛金	3,312	3,108
商品	57,619	57,999
その他	1,562	1,837
貸倒引当金	△1	△3
流動資産合計	85,581	90,500
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	69,493	69,227
土地	48,685	48,615
建設仮勘定	1,003	335
その他(純額)	4,161	4,110
有形固定資産合計	123,344	122,289
無形固定資産	2,915	3,080
投資その他の資産	10,660	10,448
固定資産合計	136,920	135,817
資産合計	222,501	226,318
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	30,494	33,391
短期借入金	22,465	21,125
1年内返済予定の長期借入金	1,896	1,496
未払法人税等	1,071	1,980
未払金	4,260	4,168
設備関係支払手形	3,861	2,554
賞与引当金	1,010	502
役員賞与引当金	26	-
ポイント引当金	1,199	1,183
資産除去債務	46	111
その他	3,001	3,542
流動負債合計	69,333	70,054
固定負債		
長期借入金	2,914	2,200
退職給付引当金	3,162	3,142
役員退職慰労引当金	975	978
資産除去債務	5,405	5,476
その他	2,169	2,225
固定負債合計	14,628	14,023
負債合計	83,961	84,078

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,538	3,538
資本剰余金	4,223	4,223
利益剰余金	132,996	136,727
自己株式	△2,350	△2,350
株主資本合計	138,407	142,138
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	132	101
評価・換算差額等合計	132	101
純資産合計	138,540	142,239
負債純資産合計	222,501	226,318

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	174,891	170,983
売上原価	118,509	114,956
売上総利益	56,382	56,026
販売費及び一般管理費	48,800	48,354
営業利益	7,582	7,672
営業外収益		
受取利息	2	0
受取配当金	9	10
受取手数料	109	140
受取家賃	257	350
受取保険金	112	227
その他	167	127
営業外収益合計	659	856
営業外費用		
支払利息	113	105
不動産賃貸原価	113	136
災害による損失	46	82
その他	7	24
営業外費用合計	280	348
経常利益	7,961	8,179
特別利益		
固定資産売却益	341	18
受取保険金	496	-
資産除去債務戻入額	22	-
特別利益合計	861	18
特別損失		
固定資産除却損	55	70
減損損失	378	267
災害による損失	760	-
役員退職慰労金	290	-
賃貸借契約解約損	-	28
その他	245	0
特別損失合計	1,730	367
税引前四半期純利益	7,093	7,830
法人税等	2,745	3,014
四半期純利益	4,348	4,816



## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

## ○税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

## 3. 補足情報

## (1) 商品部門別販売の状況

(単位:百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 2018年4月1日) (至 2018年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自 2019年4月1日) (至 2019年12月31日)		前年同期比(%)
	金額	構成比%	金額	構成比%	
資材・DIY・園芸用品	73,627	42.1	74,190	43.4	100.8
生活用品	50,027	28.6	46,684	27.3	93.3
家具・ホームファッション用品	35,628	20.4	34,973	20.5	98.2
その他	15,607	8.9	15,134	8.8	97.0
計	174,891	100.0	170,983	100.0	97.8

(注) 各部門の構成内容は次のとおりであります。

資材・DIY・園芸用品	大工道具、建築金物、ペイント、左官用品、園芸用品、水道用品、エクステリア、木材・シェルフ、ルームアクセサリー、作業用品、グリーン、電材
生活用品	家庭用品、季節用品、収納用品、文具、日用品、調理家電、履物、食品、化粧品、アウトドア用品
家具・ホームファッション用品	家具、フロアカバリング、カーテン、インテリア小物、照明、寝具、リフォーム、床材
その他	カー用品、乗り物、ペット用品、灯油他